

20年の停滞?あるいは不勉強?

土屋俊

千葉大学文学部

2009年1月24日

なぜ今、印刷体著作集？

1. 固定性

- 電子化された文書は永遠に変化し、生き続ける
- しかし、「完結」してなければ点検できない
- （とはいえ、Webで補完）

2. 廃棄可能性

- 電子版は残るが、紙は捨てられる（要不要の判断）

3. 著者恣意性

- 順番、配列、論旨、修辞について、読者がいじりにくい ⇒ 著者の展開を押しつけることがしやすい

1. **言語学と日本語の意味論**
 - 状況意味論による日本語記述と
 - 言語の「補足主義」
 - 言語学論

2. **心の哲学と認知科学の基礎**
 - 心の哲学の基本概念と(古典的)認知科学の紹介
 - 行為論による心の哲学の解消

3. **約束**
 - ヒューム論
 - 信頼形成の論理的再構成

4. **言語哲学**
 - 言語行為論
 - 哲学と諸科学
 - ウィトゲンシュタイン

5. **科学技術論とくにインターネット**
 - 科学技術制度論
 - コーパス
 - インターネット
 - 情報倫理

6. **学術情報と大学図書館**
 - 電子ジャーナル
 - 学術情報流通
 - 大学と図書館

1990年前後

